

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第2区分
 【発行日】令和6年9月5日(2024.9.5)

【公開番号】特開2024-105455(P2024-105455A)
 【公開日】令和6年8月6日(2024.8.6)
 【年通号数】公開公報(特許)2024-146
 【出願番号】特願2024-76230(P2024-76230)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 1 6 Z

【手続補正書】

【提出日】令和6年8月28日(2024.8.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

被収容物を収容し所定の枠部材に対して相対変位可能に構成される収容体を備えた遊技機において、

操作可能とされ、前記収容体に収容される前記被収容物に接続されるよう配設され、操作されたことを前記被収容物に伝達可能に構成される操作手段と、

その操作手段の操作に関する情報を遊技機前面側へ向けて報知可能とされ遊技機前面側に配設される報知手段と、

第1の電気的接続線により前記被収容物に接続され前記報知手段を制御する制御手段と、

30

第2の電気的接続線により前記被収容物に接続される電源手段と、を備え、

前記被収容物には、前記第1の電気的接続線と、前記第2の電気的接続線と、1又は複数の他の電気的接続線とが接続され、

前記電気的接続線の内の少なくとも前記第1の電気的接続線および前記第2の電気的接続線が前記被収容物に接続され少なくとも1の前記他の電気的接続線が非接続とされた状態において、前記操作手段の操作に関する情報が報知可能に構成され、

前記収容体は、前記遊技機の前面視において前記所定の枠部材に前記操作手段が重ならない位置まで前記所定の枠部材に対して相対変位可能とされ、

前記第1の電気的接続線および前記第2の電気的接続線が前記被収容物に接続され少なくとも1の前記他の電気的接続線が非接続とされた状態で、前記収容体が前記所定の枠部材に対して相対変位可能とされる範囲において最大に相対変位された所定位置まで前記収容体が前記所定の枠部材に対して相対変位可能に構成されることを特徴とする遊技機。

40

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0002

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0002】

被収容物を収容する収容体を備えた遊技機が知られている(特許文献1)。

【手続補正3】

50

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0003

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0003】

【特許文献1】特開2015-205029号公報

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

しかしながら、上述した従来の遊技機では、被收容物に配設された操作手段の操作について改善の余地があるという問題点があった。本発明は、上記例示した問題点を解決するためになされたものであり、操作手段を好適に操作できる遊技機を提供することを目的とする。

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

この目的を達成するために請求項1記載の遊技機は、被收容物を收容し所定の枠部材に対して相対変位可能に構成される收容体を備えたものであり、操作可能とされ、前記收容体に收容される前記被收容物に接続されるよう配設され、操作されたことを前記被收容物に伝達可能に構成される操作手段と、その操作手段の操作に関する情報を遊技機前面側へ向けて報知可能とされ遊技機前面側に配設される報知手段と、第1の電氣的接続線により前記被收容物に接続され前記報知手段を制御する制御手段と、第2の電氣的接続線により前記被收容物に接続される電源手段と、を備え、前記被收容物には、前記第1の電氣的接続線と、前記第2の電氣的接続線と、1又は複数の他の電氣的接続線とが接続され、前記電氣的接続線の内の少なくとも前記第1の電氣的接続線および前記第2の電氣的接続線が前記被收容物に接続され少なくとも1の前記他の電氣的接続線が非接続とされた状態において、前記操作手段の操作に関する情報が報知可能に構成され、前記收容体は、前記遊技機の前面視において前記所定の枠部材に前記操作手段が重ならない位置まで前記所定の枠部材に対して相対変位可能とされ、前記第1の電氣的接続線および前記第2の電氣的接続線が前記被收容物に接続され少なくとも1の前記他の電氣的接続線が非接続とされた状態で、前記收容体が前記所定の枠部材に対して相対変位可能とされる範囲において最大に相対変位された所定位置まで前記收容体が前記所定の枠部材に対して相対変位可能に構成される。

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

請求項1記載の遊技機によれば、操作手段を好適に操作できる。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】2872

【補正方法】変更

10

20

30

40

50

【補正の内容】

【2872】

<u>1 0</u> , <u>A 1 0</u> , <u>A 3 0 1 0</u>	パチンコ機 (遊技機)	
<u>8 1</u>	第 3 図柄表示装置 (報知手段)	
<u>1 1 3</u>	音声ランプ基板 (制御手段)	
<u>1 1 5</u>	電源装置 (電源手段)	
<u>1 2</u>	内枠 (所定の枠部材)	
<u>2 2 6</u>	音声出力装置 (報知手段)	
<u>A 1 0 0</u> , <u>A 2 1 0 0</u> , <u>A 3 1 0 0</u>	基板ボックス (収容体)	10
<u>A 1 1 0</u>	主制御装置 (被収容物)	
<u>A 1 2 0</u>	スイッチ装置 (操作手段)	

20

30

40

50